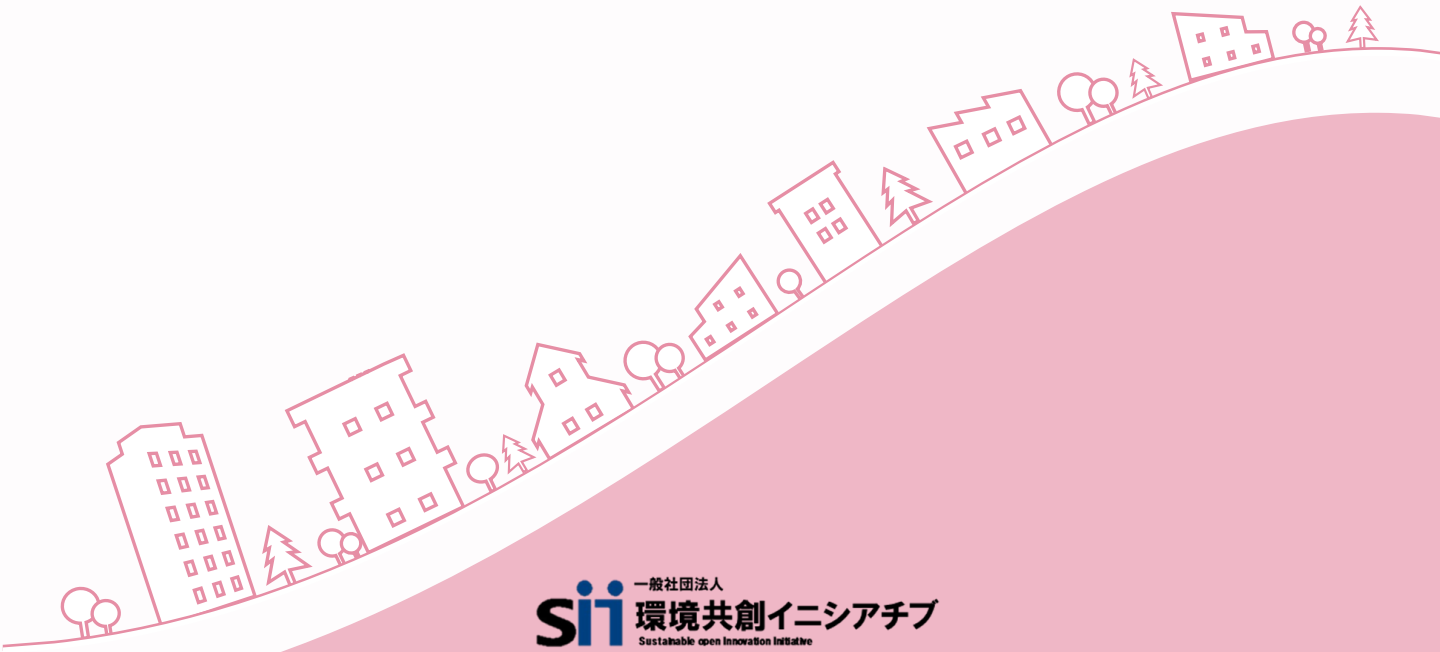
令和7年度補正予算
省エネ・非化石転換補助金
（設備単位型）

省エネルギー量計算の手引き
【指定計算（制御機能付きLED照明器具）】
5次公募用

本事業は、一般社団法人環境共創イニシアチブが代表幹事として
大日本印刷株式会社との共同事業体で執行する事業です。

2026年11月



一般社団法人 環境共創イニシアチブ
Sustainable open innovation initiative
DNP 大日本印刷株式会社

省エネルギー量計算の手引き
【指定計算(制御機能付きLED照明器具)】

本書について

はじめに

交付申請全体の流れと、本書の位置づけ ……P. 2
<参考>指定設備の設備区分と設備区分毎に定める基準表 ……P. 3

第1章　計算方法の概要

1-1 制御機能付きLED照明器具の指定計算に関する基本的な考え方について ……P. 5
1-2 計算方法(指定計算) ……P. 5
1-3 計算時の注意事項 ……P. 5
1-4 稼働条件について ……P. 6

第2章　ポータル登録について

2-1 既存設備の登録 ……P. 8
2-2 導入予定設備の登録 ……P. 10
2-3 調光制御器の登録 ……P. 12
2-4 稼働条件の登録 ……P. 14

第3章　設備種別毎の計算式と使用データについて

<参考>制御機能付きLED照明器具用の計算式と使用データ ……P. 17

■更新履歴

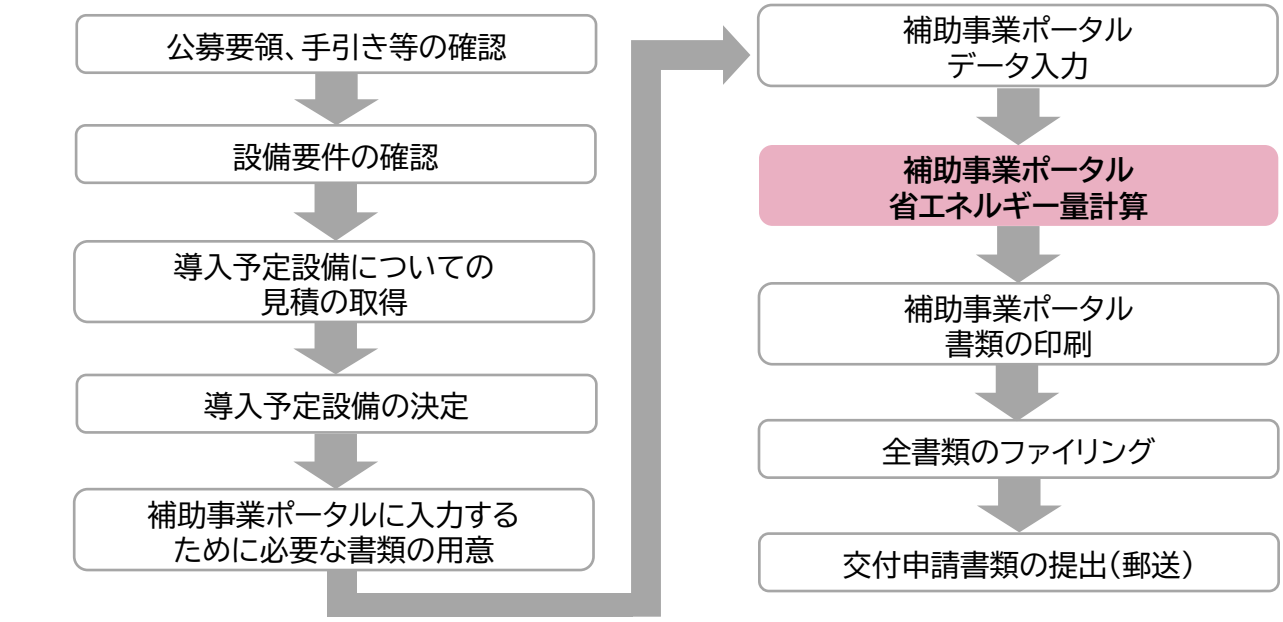
No.	版番	更新日	更新ページ	更新内容
1	1.0	2026/11/6	-	新規作成

交付申請全体の流れと、本書の位置づけ

本事業への交付申請にあたっては、以下に示す各手順を追って交付申請書を作成し、提出する必要があります。本書は、以下の手順のうち「補助事業ポータル　省エネルギー量計算」について、考え方や注意点等を説明したものです。それ以外の手順については、別途公開の「交付申請の手引き」を参照してください。

交付申請全体の流れ

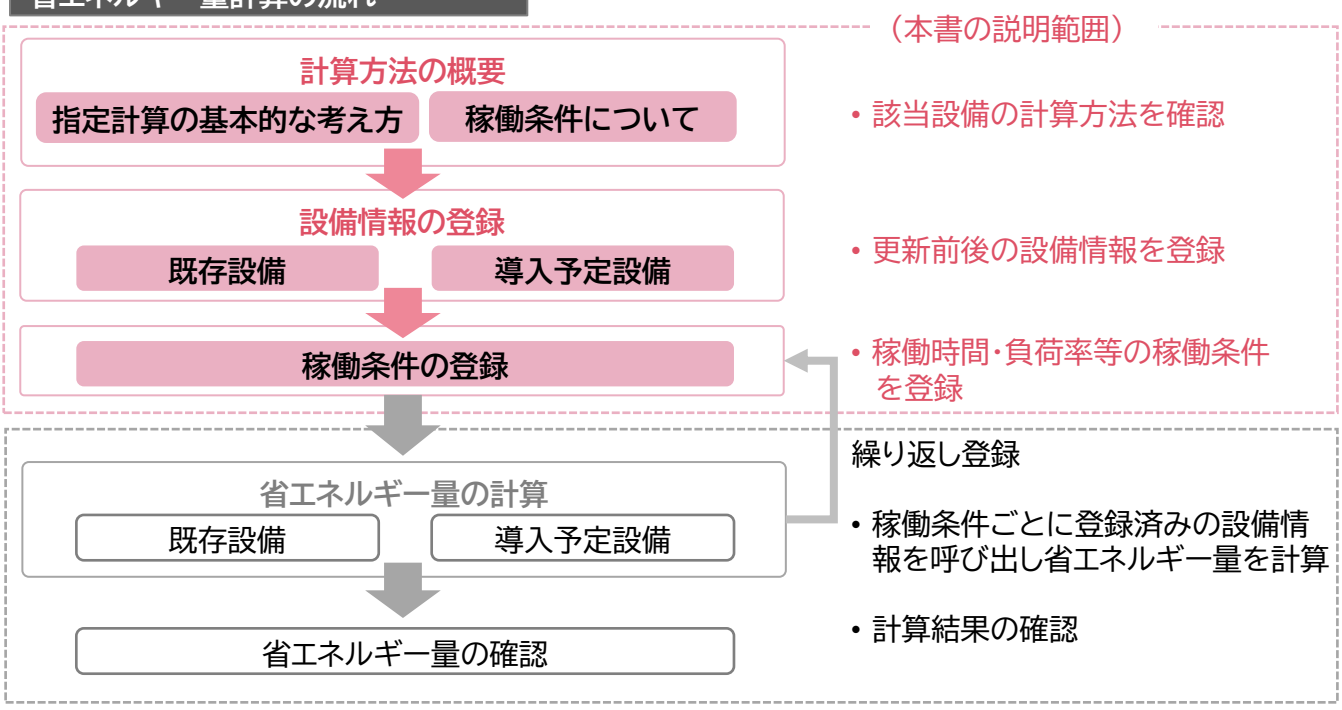
交付申請の流れ



省エネルギー量計算の流れと本書で説明する内容について

補助事業ポータルでの省エネルギー量計算の流れは、以下の通りです。本書では該当設備の計算方法の概要と、設備情報、及び稼働条件のポータル登録方法について説明いたします。
ポータル登録方法の全般に関しては、「（別冊）補助事業ポータル」をあわせてご確認ください。

省エネルギー量計算の流れ



<参考>指定設備の設備区分と設備区分毎に定める基準表

以下の基準値を満たす設備が補助対象です。補助対象設備であるか、事前にご確認ください。

制御機能付きLED照明器具

➢ **対象設備の基準値**

種別	基準値(照明器具について)	
	光源色	固有エネルギー消費効率
10-1.無線式調光制御設備	昼光色・昼白色・白色	100lm/W以上
	温白色・電球色	50lm/W以上
10-2.有線式調光制御設備	昼光色・昼白色・白色	100lm/W以上
	温白色・電球色	50lm/W以上
10-3.人感・明るさセンサ付調光制御設備	昼光色・昼白色・白色	100lm/W以上
	温白色・電球色	50lm/W以上

<備考>

※ 本事業における調光制御設備(無線式、有線式、人感・明るさセンサ付)の定義は以下のとおりとする。

1. 照明器具

照明器具は次による。

(1)電気用品安全法等の国内法規に準じたもの。

(2)商用電源により点灯するものに限る。但しコンセントより給電する照明器具は対象外とする。

(3)既設照明器具の改造を伴う場合は対象外とする。

(4)蛍光ランプ、白熱電球、放電ランプ、電球形LEDランプと互換性を有する口金をもつものは対象外とする。

2. 調光制御設備

原則、同一メーカーの連続調光照明器具と照明制御器の組合わせとするほか、次による。

2-1.連続調光器具

調光制御システムと組み合わせる器具は、調光信号により出力を連続的に制御し、調光下限値を35%以下としたものとする。

2-2.照明制御器

(1)照明制御器は、センサ、照明制御部等で構成し、センサからの情報及びあらかじめ設定された条件から照明器具の光出力又は点滅を制御できるものとする。

(2)調光信号を送出し、25台以上の照明器具を制御できるものとする。

2-3.無線式

無線通信機器付照明器具と無線通信機能付照明制御機器の組合せにより制御するシステムとする。

2-4.有線式

専用の調光信号線により、連続調光器具と照明制御器を接続し制御するシステムとする。

3. センサ

照明制御器のセンサおよびセンサ付き器具のセンサは、次による。

3-1.明るさセンサ

明るさセンサが感知した光量に応じて調光できるものとする。

3-2.人感センサ

(1)人感センサは、センサから直線距離2.5m以上検知できるものとする。

(2)減光時の光束は感知時の全光束に対しての比率で30%以下で設定されているものとする。

4. 制御

調光制御設備の導入に当たり、以下の制御の内、一つ以上の制御を採用すること。

(1)スケジュール制御

あらかじめ設定したタイムスケジュールに従い、個別回路、グループ化又はパターン化した回路を自動的に点滅又は調光制御する。

(2)明るさセンサによる一定照度制御

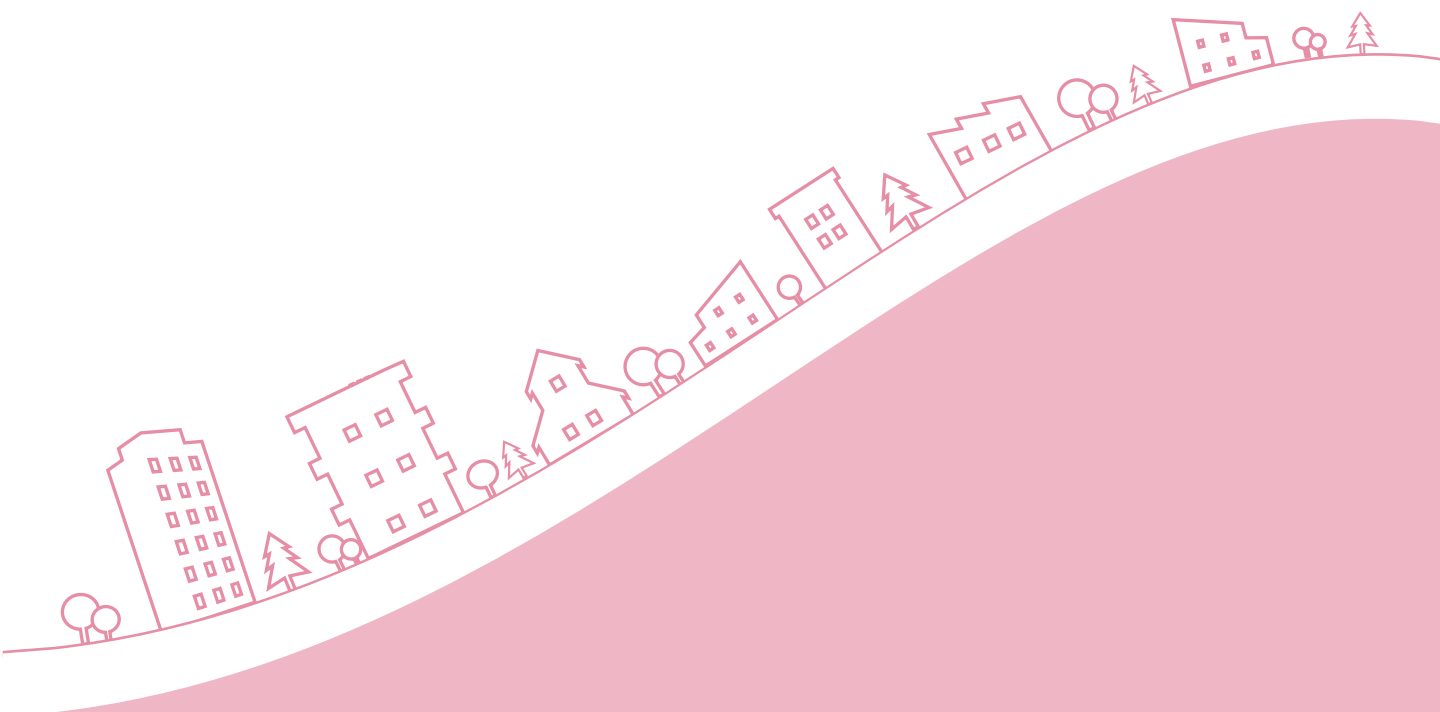
明るさセンサからの信号により、あらかじめ設定した照度に調光制御する。

(3)在／不在調光制御

人感センサ又は微動検知人感センサからの信号により、あらかじめ設定した個別回路を点滅又は調光制御する。なお、調光制御にあたっては、緩やかに調光できるものとする。

第1章

計算方法の概要



1-1 制御機能付きLED照明器具の指定計算に関する基本的な考え方について

制御機能付きLED照明器具の指定計算に関する基本的な考え方について
※計算式はP.16以降を参照してください。

- **既存設備の電力使用量**
  種別、種類・灯数から推定した定格消費電力(W)と、稼働時間(h)を用いて算出します。

- **導入予定設備の電力使用量**
  定格消費電力(W)と稼働時間(h)を用いて算出します。

1-2 計算方法(指定計算)

計算方法	内容	計算に関わるポータル項目	
指定計算	**補助事業ポータル内の自動計算機能を利用して省エネルギー量を計算する方法** • SIIが設定する計算式を使用 • 稼働時間は、平均的な「1日あたりの運転時間」「1ヶ月あたりの運転日数」を通年で同一とみなして算出 • 既存設備はカタログ・仕様書の性能値を使用してエネルギー使用量を算出 • 導入予定設備の性能値は、製品型番登録された値を使用	既存設備	• 種別・灯数等 • 運転時間
		導入予定設備	• 定格消費電力

1-3 計算時の注意事項

- 稼働時間は、計算方法に関わらず「設備の更新前後で同じ」という前提で計算してください。

- 光色を調整できるタイプの定格消費電力は、最大値を用いて計算してください。

- 指定計算を使用して計算した既存設備、及び導入予定設備それぞれの計算結果が適切な値であることを必ず確認してください。特に、既存設備の計算結果については、事業所全体の電力使用量を示す検針票・請求書等の実績値と比較し、事業所全体に対する割合が適切か確認してください。

- 指定計算では、高効率な照明器具への更新による省エネ効果に加えて、調光制御による省エネ効果を、年間で一律5%として計算を行います。

- 制御機能付きLED照明器具の申請においては、独自計算は選択できません。

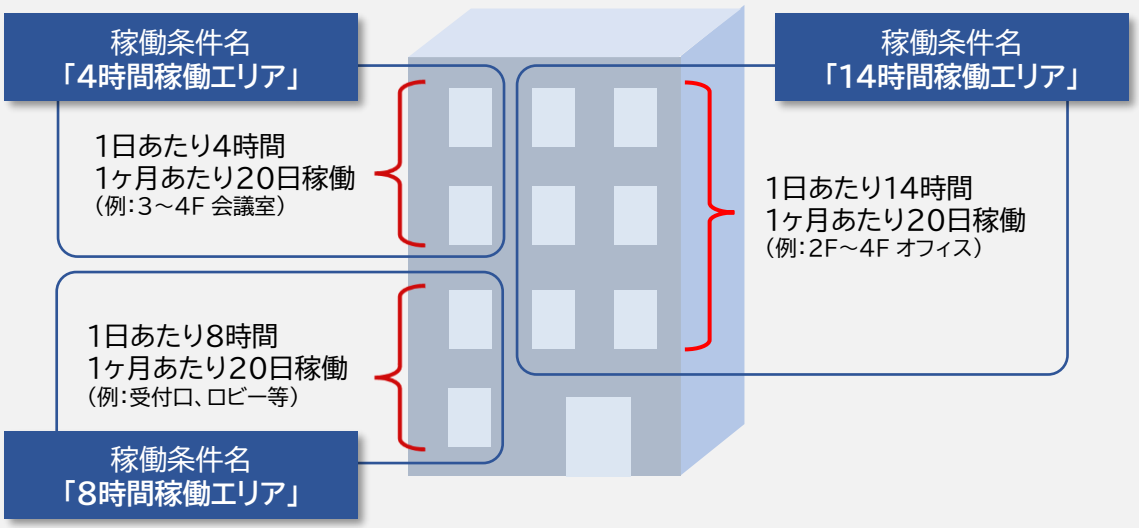
1-4　稼働条件について

稼働条件について

- 省エネルギー量計算で使用する「稼働時間」「負荷率」等、設定する条件を「稼働条件」と呼びます。
- 制御機能付きLED照明器具では「運転時間」のみを稼働条件として設定します。
- 既存設備、導入予定設備の稼働条件は同一として計算を行い、エネルギー使用量を比較します。

※ 無線式調光制御設備、及び有線式調光制御設備に該当する調光制御器が、導入する全ての照明器具（人感・明るさセンサ付調光制御設備を除く）を調光制御できる組み合わせになっていることを確認してください。

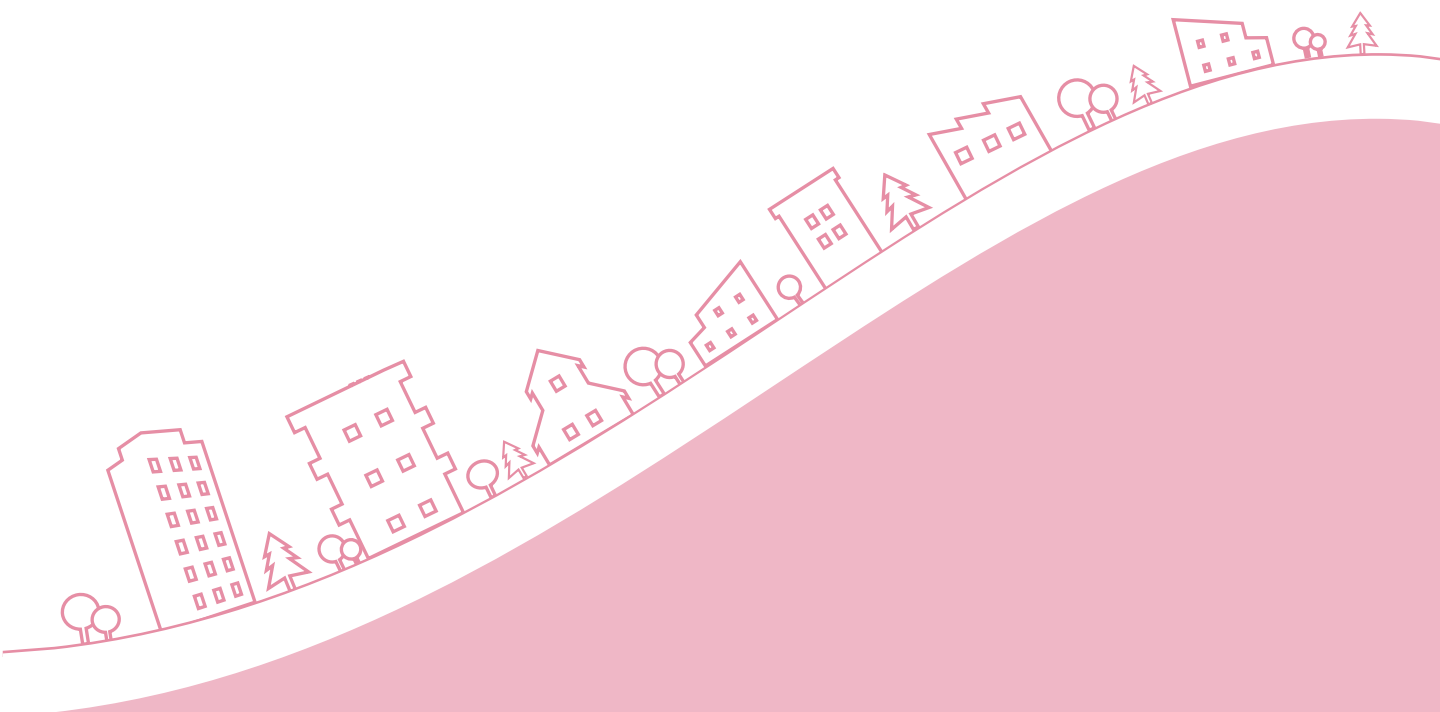
稼働条件の例



- 稼働条件は、フロアや部屋ごとに細かく登録する必要はありません。
- 稼働条件の名称は自由に登録可能です。
  登録する運転時間・運転日数の判別がつく名称としてください。
- 稼働条件の根拠書類は、必要に応じて提出を求める場合があります。

第2章

ポータル登録について



2-1 既存設備の登録

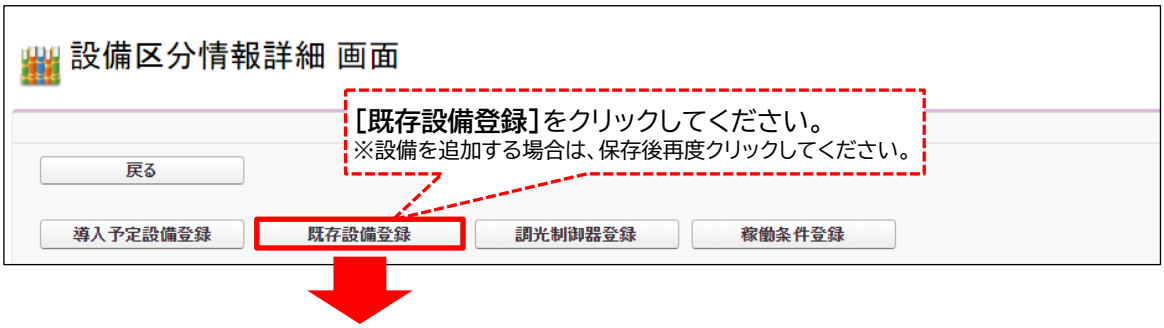
既存設備情報の登録

「既存設備登録 画面」の項目を示します。カタログ・仕様書・銘板等を確認し、誤りがないように入力してください。

＜申請書詳細 画面＞

①「申請書詳細 画面」の上部にある[c指定設備情報]をクリックし、「指定設備情報詳細 画面」を開いたら「省エネルギー効果計算(総括)」で、データを入力する設備区分毎の[詳細]をクリックします。

②「設備区分情報詳細 画面」が開いたら、以下の手順に沿って設備情報を登録します。



＜既存設備登録 画面＞



2-1 既存設備の登録

下表の説明を参考に、既存設備情報を入力します。

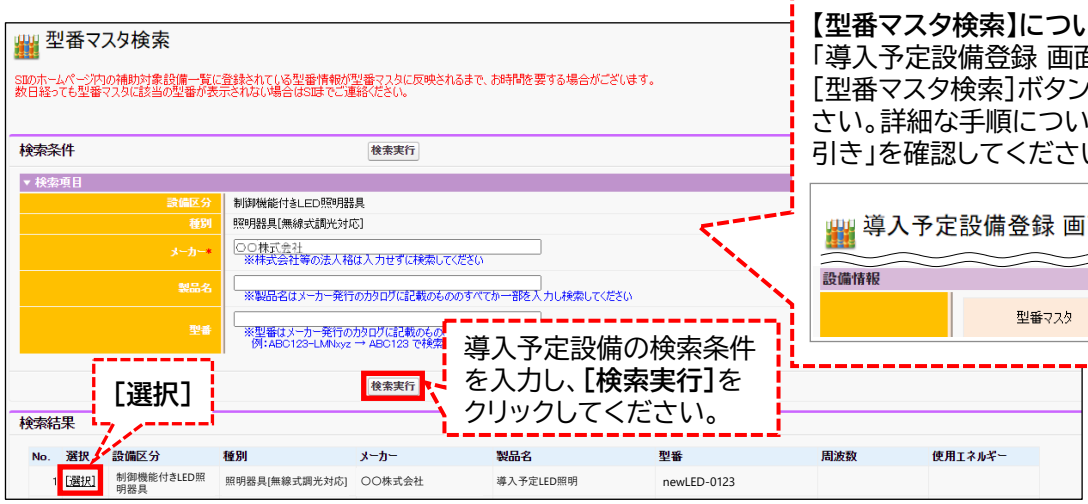
No.	項目名	入力方法	説明	備考
1	設備区分	自動表示	選択した設備区分が自動で表示されます。	
2	種別	プルダウン	既存設備の種別を選択します。	既存設備がLED照明の場合は【その他照明設備】を選択してください。
3	メーカー	手入力	既存設備の灯具本体の製造メーカー名を入力します。	確認が困難な場合は空欄でも構いません。
4	製品名	手入力	既存設備の灯具本体の製品名を入力します。	省エネルギー量計算時にここで登録した「製品名/型番」を選択するため、対象設備が判別できるように入力してください。 製品名・型番の確認が困難な場合は 8 「種類・灯数」等の判別可能な情報を入力してください。
5	型番	手入力	既存設備の灯具本体の製品型番を入力します。	
6	台数	手入力	既存設備の台数を入力します。	
7	設置年	プルダウン	固定資産台帳に記載されている、既存設備の設置年(取得年)を選択します。	不明な場合は、設備を設置した建物が登記された年(不動産登記簿【権利部(甲区)】に記載)を選択してください。
8	種類・灯数等	プルダウン	既存設備の種類・灯数を選択します。	
9	定格消費電力	自動表示/手入力	2 で【その他照明設備】以外を選択した場合は、選択した 2 と 8 の組み合わせで、定格消費電力が自動表示されます。 2 で【その他照明設備】を選択した場合は、定格消費電力を入力します。	定格消費電力の数値については巻末の「使用データ」を参照してください。 2 で【その他照明設備】を選択した場合は、既存設備の仕様(定格消費電力等)の根拠書類を提出してください。

2-2 導入予定設備の登録

導入予定設備の登録

＜設備区分情報詳細 画面＞
「設備区分情報詳細 画面」で[導入予定設備登録]ー「導入予定設備登録 画面」に遷移し、
種別をプルダウンで選択のうえ、[確定]をクリックしてください。

＜型番マスタ検索 画面＞
表示された検索結果から、導入予定設備を探し、**[選択]**をクリックしてください。



【型番マスタ検索】について
「導入予定設備登録 画面」で設備情報の[型番マスタ検索]ボタンをクリックしてください。詳細な手順については「ポータルの手引き」を確認してください。

＜導入予定設備詳細 画面＞



検索結果で**[選択]**した製品情報が自動反映されていることを確認してください。
※ 型番マスタに登録されている設備情報が自動反映されますので、入力は不要です。
（ 1-7 台数は、必ず入力してください）

入力後**[保存]**をクリックしてください。

2-2 導入予定設備の登録

下表の説明を参考に、導入予定設備情報を入力します。

項目	No.	項目名	入力方法	説明
1 設備情報	1-1	メーカー	自動表示	「型番マスタ検索」による選択結果に応じて、自動で表示されます。
	1-2	製品名	自動表示	
	1-3	型番	自動表示	
	1-4	型番(灯具)	自動表示	
	1-5	型番(光源)	自動表示	
	1-6	型番(電源)	自動表示	
	1-7	台数	手入力	当該型番の導入予定台数を入力します。 ※ 誤入力がないように「見積書」と台数の一致を確認してください。
2 基準要件	2-1	性能区分1	自動表示	「型番マスタ検索」による選択結果に応じて、自動で表示されます。
	2-2	基準値1	自動表示	
	2-3	性能値1	自動表示	
	2-4	備考	自動表示	
3 その他仕様	3-1	光束	自動表示	「型番マスタ検索」による選択結果に応じて、自動で表示されます。
	3-2	適合する調光制御設備の種別		
	3-3	定格消費電力		

検索結果に導入予定設備が表示されない、又は検索結果がない旨のメッセージが表示された場合は、以下の各項目を確認のうえ、再検索をお試しください。

- **「種別」の選択が正しいか、確認してください(公募要領P.96以降の「別表1 指定設備の基準表」参照)。**
- **「型番」の入力誤りがないか、確認してください。**
  (文字数の多い型番の場合は、型番名すべてを入力しなくても検索は可能です。
  例:ABC123-LMNxyz → ABC123 で検索する等)

※ **入力誤りがなく検索結果に導入予定設備が表示されない、又は検索結果がない旨のメッセージが表示される場合は、SIIへお問い合わせください。**

2-3 調光制御器の登録

調光制御器の登録

P.10～11で登録した「導入予定設備詳細 画面」の「適合する調光制御設備の種別」に、【有線式調光制御設備】または【無線式調光制御設備】と表示された場合は、必ず調光制御器による調光制御が必要となるため、同一メーカーの調光制御器を必ず導入および登録してください。

＜設備区分情報詳細 画面＞

「設備区分情報詳細 画面」で[調光制御器登録]ー「調光制御器登録 画面」に遷移し、種別をプルダウンで選択のうえ、[確定]をクリックしてください。

＜型番マスタ検索 画面＞

表示された検索結果から、導入予定調光制御器を探し、**[選択]**をクリックしてください。



＜調光制御器詳細 画面＞



検索結果で**[選択]**した製品情報が自動反映されていることを確認してください。
※ 型番マスタに登録されている設備情報が自動反映されますので、入力は不要です。
（ 1-4 台数は、必ず入力してください）

入力後**[保存]**をクリックしてください。

2-3 調光制御器の登録

下表の説明を参考に、導入予定設備情報を入力します。

項目	No.	項目名	入力方法	説明
1 設備情報	1-1	メーカー	自動表示	「型番マスタ検索」による選択結果に応じて、自動で表示されます。
	1-2	製品名	自動表示	
	1-3	型番	自動表示	
	1-4	台数	手入力	当該型番の導入予定台数を入力します。 ※ 誤入力がないように「見積書」と台数の一致を確認してください。
2 基準要件	2-1	性能区分	自動表示	「型番マスタ検索」による選択結果に応じて、自動で表示されます。
	2-2	備考	自動表示	
	2-3	最大制御台数	自動表示	

検索結果に導入予定設備が表示されない、又は検索結果がない旨のメッセージが表示された場合は、以下の各項目を確認のうえ、再検索をお試しください。

- **「種別」の選択が正しいか、確認してください（公募要領P.96以降の「別表1 指定設備の基準表」参照）。**
- **「型番」の入力誤りがないか、確認してください。**
  （文字数の多い型番の場合は、型番名すべてを入力しなくても検索は可能です。
  例：ABC123-LMNxyz → ABC123 で検索する等）

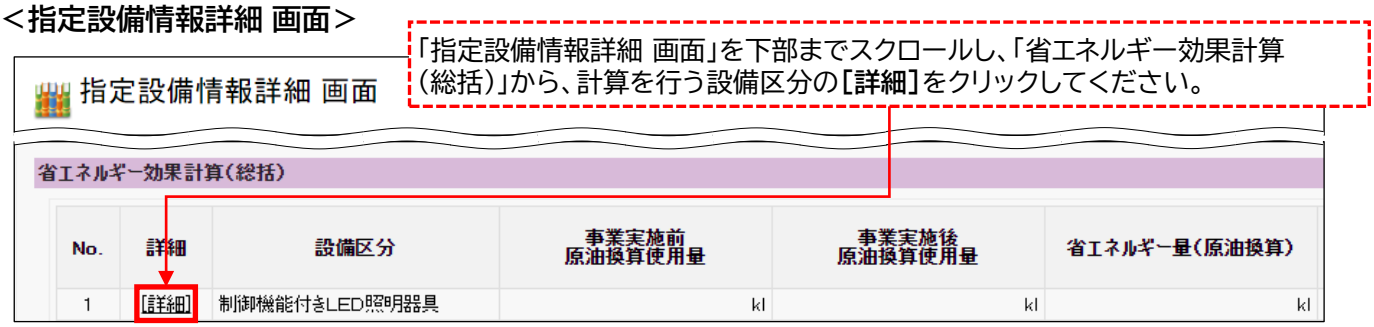
※ 入力誤りがなく検索結果に導入予定設備が表示されない、又は検索結果がない旨のメッセージが表示される場合は、SIIへお問い合わせください。

2-4 稼働条件の登録

稼働条件の登録

省エネルギー量計算に使用する稼働条件を登録します(P.6「稼働条件について」参照)。

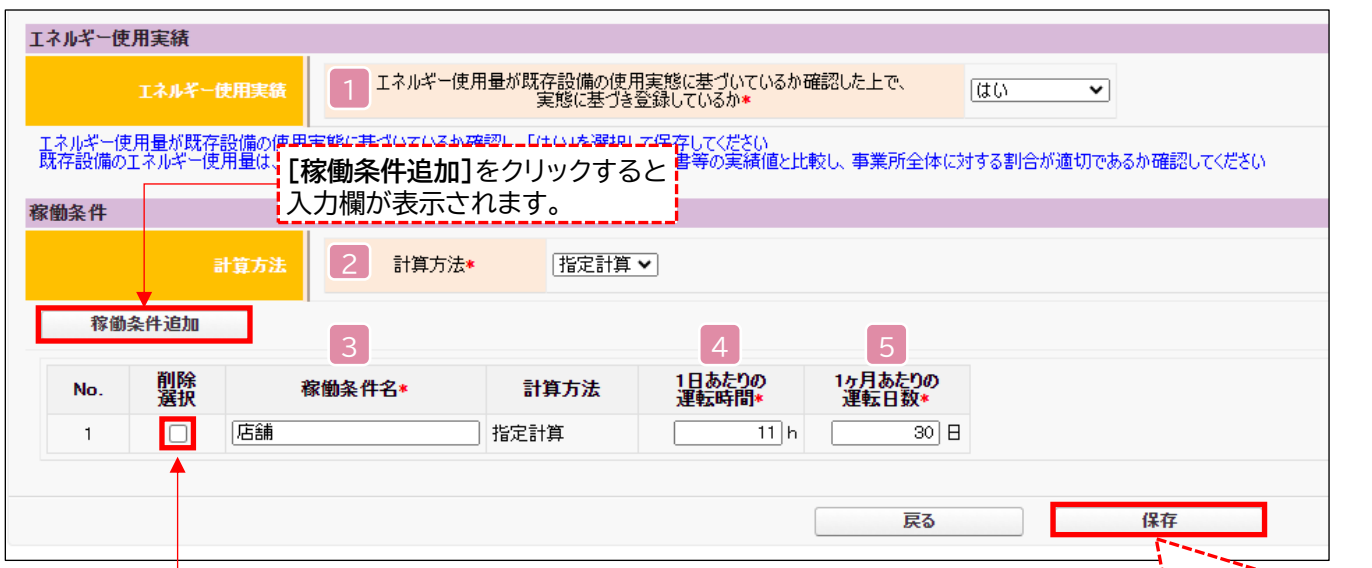
＜指定設備情報詳細 画面＞



＜設備区分情報詳細 画面＞



＜稼働条件登録 画面＞



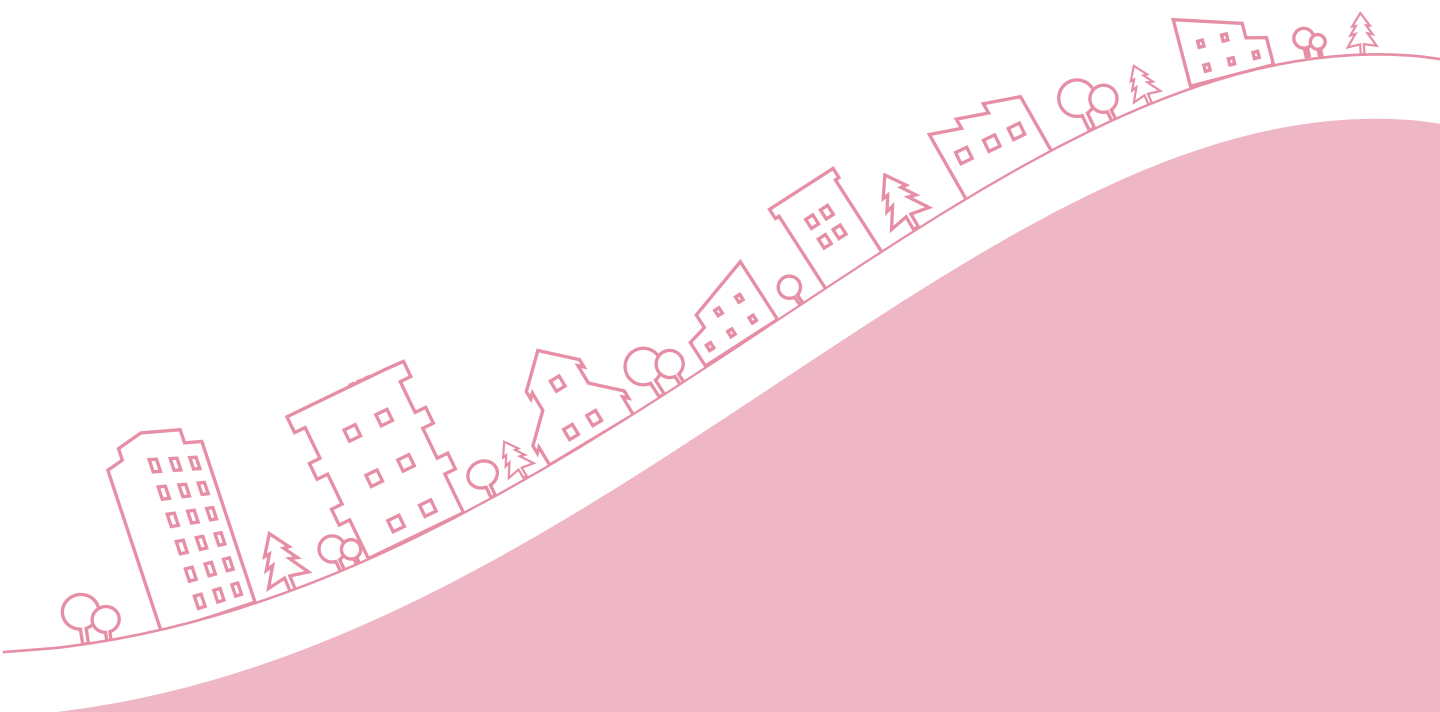
2-4 稼働条件の登録

下表の説明を参考に、計算時に使用する稼働条件を登録します。

No.	項目名	入力方法	説明	備考
1	エネルギー使用実績	プルダウン	エネルギー使用量が既存設備の使用実態に基づいているか確認し、【はい】を選択してください。	既存設備のエネルギー使用量は、事業所全体のエネルギー使用量を示す検針票や請求書等の実績値と比較し、事業所全体に対する割合が適切であるか確認してください。
2	計算方法	プルダウン	【指定計算】を選択します。	【指定計算】のみ選択できます。
3	稼働条件名	手入力	稼働条件ごとに識別用の名称を設定します。 ※ フロアや部屋の違いに関わらず、稼働条件が同じであれば、同じ「稼働条件」で登録します。 例）8時間稼働エリア　等	
4	1日あたりの運転時間	手入力	年間を通じて平均的な1日あたりの運転時間（h）を入力します。 ※ 小数点2桁で入力可	例）7時間15分：7.25 7時間30分：7.5 7時間45分：7.75
5	1ヶ月あたりの運転日数	手入力	年間を通じて平均的な1ヶ月あたりの運転日数を入力します。	

第3章

設備種別毎の計算式と使用データについて



＜参考＞制御機能付きLED照明器具用の計算式と使用データ

制御機能付きLED照明器具の指定計算の計算手順と計算式

制御機能付きLED照明器具の指定計算については下記の考えに基づき、補助事業ポータルで計算を行っています。

凡　例

- 既存設備:製品カタログ等から転記する値 / 導入予定設備:製品型番登録されている値
- 実績又は計画に基づき入力する値
- 使用データや計算ロジックによって自動入力される値

1. 既存設備のエネルギー使用量算出の計算

以下の情報を用いて、既存設備のエネルギー使用量を求める。

既存設備 定格消費電力※ [W] × 稼働時間 [h/月] × 既存設備台数 [台] × 単位変更 1/1,000 [W⇒kW] = 既存設備 消費電力量 [kWh/月]

※ 補助事業ポータルのプルダウンで選択できる種別、種類・灯数等から定格消費電力を推定。

既存設備 消費電力量 [kWh/月] × 単位変更 1/1,000 [kWh⇒MWh] × 熱量換算係数 8.64 [GJ/MWh] × 原油換算係数 0.0258 [kl/GJ] = 既存設備 原油換算使用量 [kl/月]

月間の原油換算使用量から年間の原油換算使用量を計算する。

4月 原油換算使用量 [kl/月] ＋ 5月 原油換算使用量 [kl/月] ＋ ・・・・ ＋ 翌年3月 原油換算使用量 [kl/月] = 既存設備 原油換算使用量 [kl/年]

2. 導入予定設備のエネルギー使用量算出の計算

以下の情報を用いて、導入予定設備のエネルギー使用量を求める。

導入予定設備 定格消費電力 [W] × 調光制御 効果係数 0.95 × 稼働時間※ [h/月] × 導入予定設備 導入予定台数 [台] × 単位変更 1/1,000 [W⇒kW] = 導入予定設備 消費電力量 [kWh/月]

※ 導入予定設備の稼働時間は、既存設備の稼働時間と同じとする。

導入予定設備 消費電力量 [kWh/月] × 単位変更 1/1,000 [kWh⇒MWh] × 熱量換算係数 8.64 [GJ/MWh] × 原油換算係数 0.0258 [kl/GJ] = 導入予定設備 原油換算使用量 [kl/月]

月間の原油換算使用量から年間の原油換算使用量を計算する。

4月 原油換算使用量 [kl/月] ＋ 5月 原油換算使用量 [kl/月] ＋ ・・・・ ＋ 翌年3月 原油換算使用量 [kl/月] = 導入予定設備 原油換算使用量 [kl/年]

3. 省エネルギー量算出の計算

1.と2.の計算を既存・導入予定設備で実施し、各々の原油換算使用量を求める。
既存・導入予定設備の差分を省エネルギー量とする。

既存設備 原油換算使用量 [kl/年] － 導入予定設備 原油換算使用量 [kl/年] = 省エネルギー量 [kl/年]

＜参考＞制御機能付きLED照明器具用の計算式と使用データ

使用データ1

指定計算で使用される既存設備の「定格消費電力」のデータは下表の通りです。

単位：[W]

種別	種類・灯数等	定格消費電力
直管蛍光ランプ	直管蛍光ランプFHF16形　1灯用　・　高出力	26
	直管蛍光ランプFHF16形　2灯用　・　高出力	50
	直管蛍光ランプFHF32形　1灯用　・　高出力	48
	直管蛍光ランプFHF32形　1灯用　・　定格出力　又は　不明	35
	直管蛍光ランプFHF32形　2灯用　・　高出力	95
	直管蛍光ランプFHF32形　2灯用　・　定格出力　又は　不明	70
	直管蛍光ランプFHF32形　3灯用　・　高出力	143
	直管蛍光ランプFHF32形　3灯用　・　定格出力　又は　不明	105
	直管蛍光ランプFHF32形　4灯用　・　高出力	190
	直管蛍光ランプFHF32形　4灯用　・　定格出力　又は　不明	140
	直管蛍光ランプFHF32形　5灯用　・　高出力	238
	直管蛍光ランプFHF32形　5灯用　・　定格出力　又は　不明	175
	直管蛍光ランプFHF32形　6灯用　・　高出力	285
	直管蛍光ランプFHF32形　6灯用　・　定格出力　又は　不明	210
	直管蛍光ランプFHF63形　1灯用	64
	直管蛍光ランプFHF63形　2灯用	125
	直管蛍光ランプFHF86形　1灯用	87
	直管蛍光ランプFHF86形　2灯用	172
	直管蛍光ランプFHF86形　3灯用	259
	直管蛍光ランプFL20・FLR20形 1灯用	21
	直管蛍光ランプFL20・FLR20形 2灯用	41
	直管蛍光ランプFL20・FLR20形 3灯用	62
	直管蛍光ランプFL20・FLR20形 4灯用	82
	直管蛍光ランプFL20・FLR20形 5灯用	103
	直管蛍光ランプFL20・FLR20形 6灯用	123
	直管蛍光ランプFL40形 1灯用　・　磁気式安定器	42
	直管蛍光ランプFL40形 2灯用　・　磁気式安定器	83
	直管蛍光ランプFL40形 3灯用　・　磁気式安定器	125
	直管蛍光ランプFL40形 4灯用　・　磁気式安定器	166
	直管蛍光ランプFL40形 5灯用　・　磁気式安定器	208
	直管蛍光ランプFL40形 6灯用　・　磁気式安定器	249
	直管蛍光ランプFLR40形 1灯用　・　磁気式安定器	41
	直管蛍光ランプFLR40形 2灯用　・　磁気式安定器	78
	直管蛍光ランプFLR40形 3灯用　・　磁気式安定器	119
	直管蛍光ランプFLR40形 4灯用　・　磁気式安定器	156
	直管蛍光ランプFLR40形 5灯用　・　磁気式安定器	197
	直管蛍光ランプFLR40形 6灯用　・　磁気式安定器	234
	直管蛍光ランプFLR110形 1灯用　・　磁気式安定器	108
	直管蛍光ランプFLR110形 1灯用　・　電子安定器	94
	直管蛍光ランプFLR110形 2灯用　・　磁気式安定器	208
	直管蛍光ランプFLR110形 2灯用　・　電子安定器	187
	直管蛍光ランプFLR110形 3灯用　・　磁気式安定器	316
	直管蛍光ランプFLR110形 3灯用　・　電子安定器	281
環形蛍光ランプ	環形蛍光ランプFCL20形　1灯用	22
	環形蛍光ランプFCL30形　1灯用	31
	環形蛍光ランプFCL32形　1灯用	36
	環形蛍光ランプFCL40形　1灯用	47
	環形蛍光ランプFCL32形+30形	64
	環形蛍光ランプFCL40形+32形	80
	環形蛍光ランプFCL40形+32形+30形	108
	環形蛍光ランプFHC13形　1灯用	16
	環形蛍光ランプFHC20形　1灯用	27
	環形蛍光ランプFHC27形　1灯用	36
	環形蛍光ランプFHC34形+13形	59
	環形蛍光ランプFHC27形+20形	62
	環形蛍光ランプFHC34形+20形	70
	環形蛍光ランプFHC34形+27形	81
	環形蛍光ランプFHC34形+27形+20形	106
	環形蛍光ランプFHC41形+34形+27形	123
	環形蛍光ランプFHD40形　1灯用	36
	環形蛍光ランプFHD70形　1灯用	64
	環形蛍光ランプFHD85形　1灯用	76
	環形蛍光ランプFHD100形　1灯用	91
	環形蛍光ランプFHD100形+40形	120

＜参考＞制御機能付きLED照明器具用の計算式と使用データ

使用データ2

単位:[W]

種別	種類・灯数等	定格消費電力
コンパクト蛍光ランプ	コンパクト蛍光ランプFDL13形　1灯用	15
	コンパクト蛍光ランプFDL18形　1灯用	18
	コンパクト蛍光ランプFDL27形　1灯用	25
	コンパクト蛍光ランプFPL13・FML13形　1灯用	18
	コンパクト蛍光ランプFPL18・FML18形　1灯用	22
	コンパクト蛍光ランプFPL27形・FML27形 1灯用	24
	コンパクト蛍光ランプFPL36形・FML36形 1灯用	36
	コンパクト蛍光ランプFPL36形・FML36形 2灯用	70
	コンパクト蛍光ランプFPL36形 3灯用	106
	コンパクト蛍光ランプFPL36形 4灯用	140
	コンパクト蛍光ランプFPL55形 3灯用	159
	コンパクト蛍光ランプFPL55形 4灯用	210
	コンパクト蛍光ランプFHP23形 1灯用	26
	コンパクト蛍光ランプFHP23形 2灯用	49
	コンパクト蛍光ランプFHP32形 3灯用 ・ 省電力	93
	コンパクト蛍光ランプFHP32形 3灯用 ・ 定格出力 又は 不明	105
	コンパクト蛍光ランプFHP32形 4灯用 ・ 省電力	124
	コンパクト蛍光ランプFHP32形 4灯用 ・ 定格出力 又は 不明	138
	コンパクト蛍光ランプFHP45形 3灯用	141
	コンパクト蛍光ランプFHP45形 4灯用	188
	コンパクト蛍光ランプFHP105形　1灯用	92
	コンパクト蛍光ランプFHP105形　2灯用	218
コンパクト蛍光ランプ	コンパクト蛍光ランプFHT16形 1灯用	19
	コンパクト蛍光ランプFHT24形 1灯用	27
	コンパクト蛍光ランプFHT24形 2灯用	53
	コンパクト蛍光ランプFHT24形 3灯用	80
	コンパクト蛍光ランプFHT24形 4灯用	106
	コンパクト蛍光ランプFHT32形 1灯用	35
	コンパクト蛍光ランプFHT32形 2灯用	70
	コンパクト蛍光ランプFHT32形 3灯用	105
	コンパクト蛍光ランプFHT32形 4灯用	140
	コンパクト蛍光ランプFHT42形 1灯用	45
	コンパクト蛍光ランプFHT42形 2灯用	90
	コンパクト蛍光ランプFHT42形 3灯用	135
	コンパクト蛍光ランプFHT42形 4灯用	180
	コンパクト蛍光ランプFHT57形 1灯用	65
	コンパクト蛍光ランプFHT57形 2灯用	144
	コンパクト蛍光ランプFHT57形 3灯用	209
	コンパクト蛍光ランプFHT57形 4灯用	288
	コンパクト蛍光ランプFPL/HF32形 3灯用	103
	コンパクト蛍光ランプFPL/HF32形 4灯用	136
	コンパクト蛍光ランプFPL/HF45形 3灯用	141
	コンパクト蛍光ランプFPL/HF45形 4灯用	188
HIDランプ	HIDランプ高圧水銀ランプ 40形	52
	HIDランプ高圧水銀ランプ 80形	97
	HIDランプ高圧水銀ランプ 100形	115
	HIDランプ高圧水銀ランプ 200形	213
	HIDランプ高圧水銀ランプ 250形	260
	HIDランプ高圧水銀ランプ 300形	310
	HIDランプ高圧水銀ランプ 400形	415
	HIDランプ高圧水銀ランプ 700形	730
	HIDランプ高圧水銀ランプ 1000形	1030
	HIDランプメタルハライドランプ 100形	114
	HIDランプメタルハライドランプ 200形	215
	HIDランプメタルハライドランプ 250形	260
	HIDランプメタルハライドランプ 300形	310
	HIDランプメタルハライドランプ 400形	415
	HIDランプメタルハライドランプ 700形	730
	HIDランプメタルハライドランプ 1000形	1030

＜参考＞制御機能付きLED照明器具用の計算式と使用データ

使用データ3

単位:[W]

種別	種類・灯数等	定格消費電力
HIDランプ	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 35形	46
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 70形	86
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 150形 ・ 磁気式安定器	165
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 150形 ・ 電子安定器	169
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 180形	205
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 190形	210
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 220形	240
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 230形	250
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 270形	292
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 290形	307
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 360形	390
	HIDランプセラミックメタルハライドランプ 100形	110
	HIDランプ高圧ナトリウムランプ 40形	52
	HIDランプ高圧ナトリウムランプ 75形	94
	HIDランプ高圧ナトリウムランプ 110形	125
	HIDランプ高圧ナトリウムランプ 180形	198
	HIDランプ高圧ナトリウムランプ 220形	238
	HIDランプ高圧ナトリウムランプ 270形	288
	HIDランプ高圧ナトリウムランプ 360形	384
	HIDランプ高圧ナトリウムランプ 660形	700
	HIDランプ高圧ナトリウムランプ 940形	990
	HIDランプバラストレス水銀ランプ 100形	100
	HIDランプバラストレス水銀ランプ 160形	160
	HIDランプバラストレス水銀ランプ 250形	250
	HIDランプバラストレス水銀ランプ 300形	300
	HIDランプバラストレス水銀ランプ 500形	500
	HIDランプバラストレス水銀ランプ 750形	750
電球形蛍光ランプ	電球形蛍光ランプEFA10・EFD10形	7
	電球形蛍光ランプEFA15・EFD15形	10
	電球形蛍光ランプEFA25・EFD25形	20
クリプトン電球	クリプトン電球40形	36
	クリプトン電球60形	54
	クリプトン電球100形	90
白熱電球	白熱電球40形	36
	白熱電球60形	54
	白熱電球100形	90
ハロゲン電球_JD110V	ハロゲン電球_JD110V60W	55
	ハロゲン電球_JD110V65W	65
	ハロゲン電球_JD110V85W	85
	ハロゲン電球_JD110V90W	90
	ハロゲン電球_JD110V130W	130
	ハロゲン電球_JD110V200W	200
	ハロゲン電球_JD110V250W	250
	ハロゲン電球_JD110V500W	500

＜参考＞制御機能付きLED照明器具用の計算式と使用データ

光源色の区分と相関色温度(K)の分類

カタログに光源色の記載が無い場合は、相関色温度(K ケルビン)の値から光源色の区分を確認してください。

光源色の区分	相関色温度(K)
昼光色	5,700 ~ 7,100
昼白色	4,600 ~ 5,500
白 色	3,800 ~ 4,500
温白色	3,250 ~ 3,800
電球色	2,600 ~ 3,250

お問い合わせ・相談・連絡窓口

一般社団法人 環境共創イニシアチブ

省エネ・非化石転換補助金

補助金申請に関するお問い合わせ窓口

（Ⅲ）設備単位型/（Ⅲ）GX設備単位型

TEL：0570-01-5116（ナビダイヤル）

042-303-0855（IP電話からのご連絡）

受付時間：平日の10:00～12:00、13:00～17:00

（土曜、日曜、祝日を除く）

通話料がかかりますのでご注意ください。

SIIホームページURL https://sii.or.jp/

事業ページURL https://sii.or.jp/setsubi07r/

事業ページQRコード

